



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和5年5月31日

初夏の風が、園庭にも園舎裏の畑にも駆け抜け爽やかです。
畑に植えたジャガイモが青々と生長し、薄紫色の花を咲かせています。

先日、年長組の子どもたちは畑に行き、副園長先生の説明を聞き、さつま芋の苗植えを行いました。その時、ジャガ芋の花が咲いていることやシソの葉が茂っていることに気付いた子どもたち。「ジャガ芋って花が咲くんだね！」赤シソの葉を嗅いで「この葉っぱ、いいにおいがするね！」と自然の中でたくさんの気づきがありました。毎年梅ジュースは作っていたのですが、子どもたちのそんな会話から今年はシソジュースも作ることになりました。

また、年長さんはトマトの苗も植えました。夏の収穫が楽しみです。

年中さんはゴーヤの苗を植えレモンバームの種を蒔きました。緑のカーテンの木陰でハーブティーのカフェごっこなどに発展することを期待しています。

「めだかの学校」の歌を元気よく歌っていた年少さん。メダカってどんな生き物か、お部屋でメダカを飼うことになりました。3歳児はメダカの動きを目で追ったり、指で追ったり・・・興味津々の様子です。

毎月、さくら組さんには「こどもまんなかしんぶん」を、お配りしています。5月号には『乳幼児期は根っこを育てる大切な時期』という記事が載っており、まさしくそうだなあと共感しましたので他の保護者の皆様にもお伝えします。

人の育ちを木に例えると、乳幼児期は根っこの部分。この時期の子どもたちは、知識を学ぶよりも、体を使い、五感で感じとり自ら興味を見出し、探求心を広げていきます。乳幼児期に身につく力は、誰かに教えられるのではなく、遊びに没頭する中でこそ培われるものです。遊びを通してヒト・モノ・コトに関わり、子どもたちが自ら考え、行動できる保育、環境づくりをしていくことが大切です。子どもたちが大人になったときに過ごす2030～2040年代は、発達したAIが多くの仕事（作業）を人間に変わってこなす時代です。AIを駆使して人間が幸せに生きていくためには、人が自分で考え、協働し、行動していく力が今まで以上に求められます。その原動力となるのは想像力、創意工夫する力、探究し表現する力、協調性や思いやり、意欲、粘り強さなど「非認知能力」と言われる数値では表すことのできない目に見えない力です。人間の根っこを育てる時期には、まさに「非認知能力」の基礎を育むことが大切です。根っこが育まれるとその後に「認知能力」もしっかりと積み重なっていきます。

ということですので、園では自然環境や物的環境を整え、子どもたちが自ら遊びに取り組めるよう見守っていきたいと思っています。



日	曜日	行事内容
1	木	習字教室 (さくら)
2	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)
3	土	
4	日	
5	月	個人面談 (ばら ~9日 (金) まで)
6	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)
7	水	身体測定(ばら)
8	木	習字教室 (さくら) 身体測定(すみれ)
9	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら) 身体測定(さくら)
10	土	奉仕作業 (もも・すみれ)
11	日	
12	月	個人面談 (すみれ ~16日 (金) まで)
13	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら) 茶話会
14	水	
15	木	Jヴィレッジサッカー教室(すみれ・さくら) 身体測定(ちゅうりっぷ・たんぼぼ)
16	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら) 身体測定(もも)
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)
21	水	交通教室(ばら・すみれ・さくら)
22	木	乗車体験 (さくら)
23	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら)
24	土	
25	日	
26	月	お誕生会 習字教室 (さくら) おたより帳預かり
27	火	英語教室(ばら・すみれ・さくら)
28	水	
29	木	引渡し避難訓練
30	金	体育教室(ばら・すみれ・さくら) おたより帳預かり